

朝倉市
循環型社会形成推進地域計画

令和 4 年 12 月 15 日

目 次

1	地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項	1
	(1) 対象地域	1
	(2) 計画期間	1
	(3) 基本的な方向	1
2	循環型社会形成推進のための現状と目標	3
	(1) 生活排水の処理の現状	3
	(2) 生活排水の処理の目標	3
3	施策の内容	5
	(1) 発生抑制、再使用の推進.....	5
	(2) 処理体制	5
	(3) 処理施設等の整備.....	6
	(4) 施設整備に関する計画支援事業.....	7
	(5) その他の施策	7
4	計画のフォローアップと事後評価	8
	(1) 計画のフォローアップ	8
	(2) 事後評価及び計画の見直し	8

1 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

市町名：福岡県朝倉市

面積：246.71km²

人口：51,133人（令和4年3月31日現在人口）

(2) 計画期間

循環型社会形成推進地域計画（以下「本計画」という。）は、令和5年4月1日から令和10年3月31日までの5年間（令和5年度～令和9年度）を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本市は平成18年3月20日に1市2町（甘木市・朝倉町・杷木町）が合併し、朝倉市となった。

本市北部は嘉麻市、南部は大刀洗町、久留米市及びうきは市、東部は朝倉郡東峰村、西部は朝倉郡筑前町と境界を接している。また、南北に国道322号線、東西に国道386号線が通じているとともに、大分自動車道が東西に通っており、産業の展開や地域発展のための動脈を担う広域交通基盤が整備されている。

自然環境では、本市北部に古処山、屏山及び馬見山などの山々が連なり、これらに林立する木々が雨水を蓄え、小石原川及び佐田川などを介して筑後川へと流れる水の動線が構築されており、天然の豊かな水が食や伝統文化を支えている。野菜ではネギやきゅうり、キャベツなど、果物ではかきや日本なし、ぶどうなどの生産が盛んである。本市は福岡の水瓶と称され、豊かな水は福岡市や久留米市にも送られており、近隣市を支えている。

市街地には公共下水道の整備、農村部等の集落には農業集落排水処理施設の整備、それ以外の散在する家庭等においては合併処理浄化槽の設置を中心とした生活排水対策を推進し、公共用水域の水質保全に取り組んでいるところである。

しかし、し尿の汲み取りや単独処理浄化槽の設置を行っている家庭の生活雑排水（日常生活に伴って排出される台所、洗濯、風呂などの排水）については未処理のまま公共用水域に排出されている地域がまだ残っており、河川等の水質汚濁が懸念されている状況である。

したがって、今後は公共下水道の未整備地域の整備及び公共下水道や農業集落排水処理施設供用開始区域内における接続率の向上、それ以外の地域における合併処理浄化槽の更なる普及を進め、地域の水質環境保全に努めていく計画である。

また、単独処理浄化槽やし尿汲み取り便槽から合併処理浄化槽への切り替えにより、浄化槽汚泥量の割合が増えることが予想されるが、人口の減少や公共下水道の普及等により、総搬入量（し尿・浄化槽汚泥）としては、経年的には減少する傾向で推移する見通しである。しかし、し尿及び浄化槽汚泥は引き続き、本市の汚泥再生処理施設である朝倉市環境センター（以下、「本施設」

という。)での適正な処理が必要不可欠である。

本施設は供用開始後 15 年を迎えており、搬入性状の希薄化や搬入量の減少、設備機器が一般的耐用年数を超過していることから、今後も本市のし尿及び浄化槽汚泥の安定的な処理を継続するため、本施設の延命化を行うとともに、下水道放流方式の施設へのリニューアルを実施する。

なお、合併処理浄化槽については引き続き整備を推進する。

2 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水の処理の現状

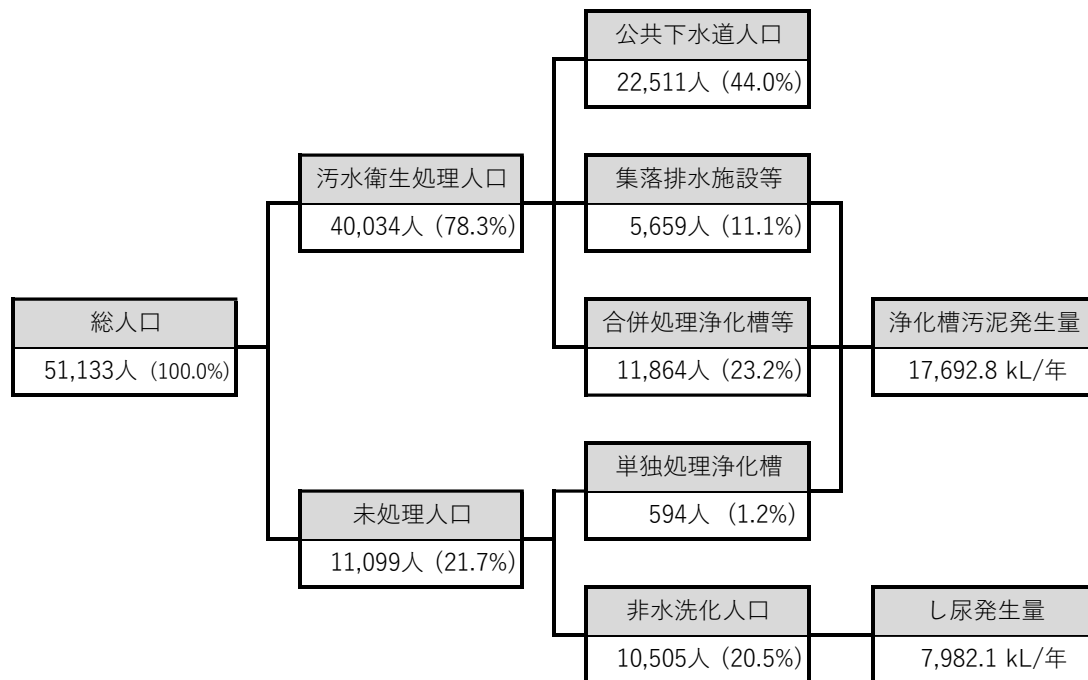
本市で発生するし尿、浄化槽汚泥及び農業集落排水汚泥は、本施設で処理を行っている。

令和3年度の生活排水の処理状況及びし尿・汚泥等の排出は、図表2.1のとおりである。

行政区域内の総人口51,133人のうち、汚水衛生処理人口は40,034人であり、汚水衛生処理率(=(公共下水道+農業集落排水処理施設+合併処理浄化槽等の各人口)÷(総人口))は78.3%である。

また、し尿発生量は7,982.1kL/年、浄化槽汚泥発生量(農業集落排水処理施設からの汚泥含む)は17,692.8kL/年であり、自家処理を除いた処理・処分量(=収集・運搬量)は25,674.9kL/年である。

◆図表 2.1 生活排水の処理状況フロー (令和3年度)



(2) 生活排水の処理の目標

本計画の計画期間中においては、生活排水等の汚水衛生処理率の向上を含め循環型社会の実現を目指し、次のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

令和9年度において、行政区域内の総人口47,775人のうち汚水衛生処理人口38,054人、汚水衛生処理率は79.7%を目標とする。

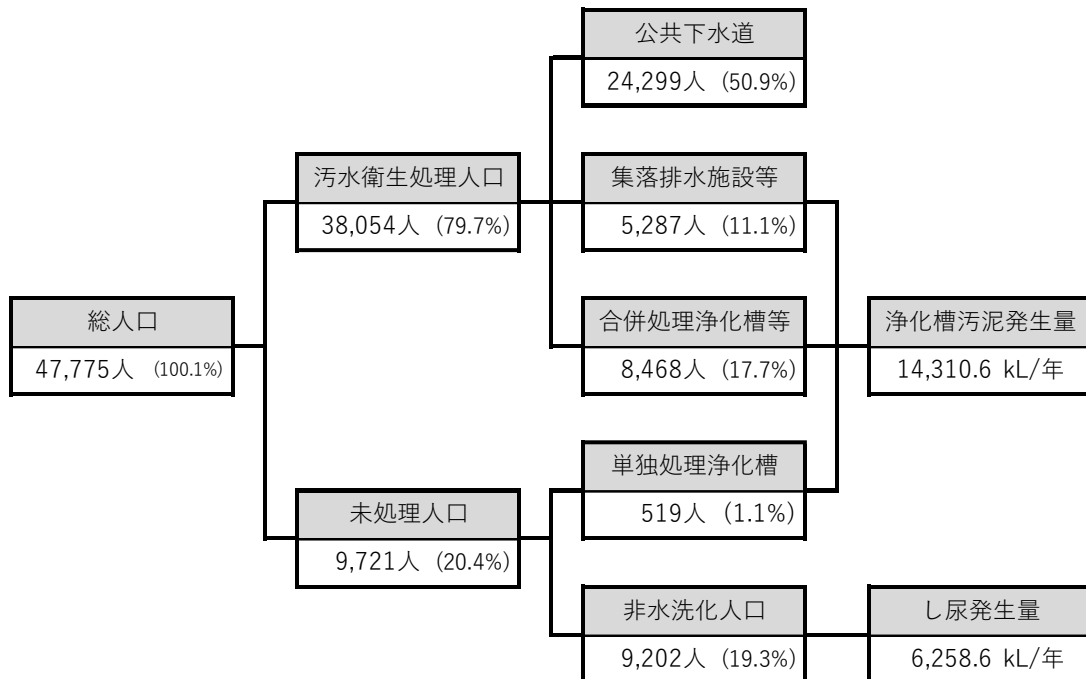
生活排水処理の目標は図表2.2及び2.3に掲げるとおり、汚水衛生処理率の向上を目指し、下水道及び合併処理浄化槽の整備を進め、公共下水道及び集落排水施設供用開始区域については接続率の向上を図っていくとともに、し尿処理施設の効率的な整備等を進めていくものとする。

◆図表 2.2 減量化、再生利用に関する現状と目標

区 分		令和3年度 実績	令和9年度 目標
処理形態別人口	公共下水道人口	22,511 人 (44.0%)	24,299 人 (50.9%)
	集落排水施設等	5,659 人 (11.1%)	5,287 人 (11.1%)
	合併処理浄化槽等	11,864 人 (23.2%)	8,468 人 (17.7%)
	単独処理浄化槽	594 人 (1.2%)	519 人 (1.1%)
	非水洗化人口	10,505 人 (20.5%)	9,202 人 (19.3%)
合 計		51,133 人 (100.0%)	47,775 人 (100.1%)
し尿・汚泥	汲み取りし尿量	7,982.1 キロリットル	6,258.6 キロリットル
	浄化槽汚泥量	17,692.8 キロリットル	14,310.6 キロリットル
	合 計	25,674.9 キロリットル	20,569.2 キロリットル

※：端数処理により割合、合計が合わないことがある。

◆図表 2.3 目標達成時の生活排水の処理状況フロー（令和9年度）



※：端数処理により割合、合計が合わないことがある。

3 施策の内容

(1) 発生抑制、再使用の推進

本地域では、以下の施策を展開することにより、発生抑制及び再使用の推進を図っていくものとする。

ア 公共下水道及び集落排水処理施設への接続率を向上

公共下水道区域内及び農業集落排水区域内にある家屋等については、公共下水道及び農業集落排水処理施設へ接続するように啓発・指導を行う。

イ 合併処理浄化槽の普及

単独処理浄化槽を設置している事業所・世帯及びし尿汲み取りの事業所・世帯においては、合併処理浄化槽を更に普及させていくものとし、広報、チラシ、パンフレット等を作成、配布して、合併処理浄化槽への転換の啓発・指導を行う。

ウ 広報・啓発活動

廃食用油の適正処理等の汚濁負荷削減対策、合併処理浄化槽の設置や適正な維持管理、子どもの環境先進地視察等の環境教育及びアンケートによる意識調査などの広報・啓発活動を実施し、生活排水処理に関して市民一人ひとりの意識高揚を図る。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後

生活排水の処理については、引き続き、公共下水道の計画的な整備を推進し、公共下水道及び農業集落排水処理施設供用開始区域については接続を推進する。また、公共下水道認可区域及び農業集落排水区域以外の地域においては合併処理浄化槽の計画的な整備を推進する。

一方、し尿及び浄化槽汚泥については、本施設で適切に処理し、処理工程で発生する汚泥については、脱水乾燥後、発酵させ堆肥化することにより、有機肥料として再利用している。そのため、今後も継続して汚泥を堆肥化し、汚泥の再利用を推進する。

また、本施設は供用開始後 15 年が経過し、設備機器の老朽化に伴う故障やし尿及び浄化槽汚泥の搬入性状の希薄化や搬入量の減少等による施設の計画条件との乖離等の問題が顕在化してきている状況である。

今後の本地域のし尿及び浄化槽汚泥の安定的な処理の継続及び施設の長寿命化・延命化を図るため、本施設のリニューアルを実施する。

イ 今後の処理体制の要点

- ◇ 市街化区域における公共下水道の計画的な整備を推進し、さらに公共下水道及び農業集落排水処理施設供用開始区域については施設への接続を推進する。
- ◇ 公共下水道認可区域及び農業集落排水区域以外の地域では合併処理浄化槽の計画的な整備を推進する。
- ◇ 今後も対象地域のし尿及び浄化槽汚泥を安定的に処理するにあたり、本施設のリニューアルを実施し、施設の長寿命化・延命化を図る。
- ◇ 本施設においては処理工程で発生する汚泥の堆肥化を行っているため、今後も継続して汚泥の堆肥化を行う。

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

前述(2)の処理体制で処理を行うため、図表2.4のとおり必要な施設整備を行う。

◆図表 2.4 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類 施設名	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土強靱化
1	朝倉市環境センター (汚泥再生処理センター)	朝倉市環境センター (汚泥再生処理施設) リニューアル事業	35kL/日	福岡県朝倉市 堤4番地6	R6~ R8	—

(整備理由)

事業番号1：既存施設の延命化及び下水道放流方式への変更

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、図表2.5のとおり行う。

◆図表 2.5 合併処理浄化槽への整備計画

事業名	直近の整備済基数（基） （令和3年度）	整備計画基数 （基）	整備計画人口 （人）	事業期間	国土強靱化
浄化槽設置 整備事業	2	5	150	R5～R9	—
公共浄化槽等 整備推進事業	44	294	1,162	R5～R9	—
その他 地方単独事業	0	—	—	—	—
合 計	46	299	1,312		

※：R5～6については、前地域計画と重複

（４）施設整備に関する計画支援事業

前述（３）の施設整備を行うため、図表 2.6 のとおり必要な計画支援事業を行う。

◆図表 2.6 実施する計画支援事業

事業 番号	事業名	事業内容	事業 期間
31	朝倉市環境センター（汚泥再生処理施設） リニューアル事業に係る生活環境影響調査	生活環境影響調査	R5
32	朝倉市環境センター（汚泥再生処理施設） リニューアル事業に係る発注仕様書等作成業務	施設整備基本設計及び発注仕様書等作成	R5
33	朝倉市環境センター（汚泥再生処理施設） リニューアル事業に係る発注支援業務	入札公告関係書類作成及び事業者選定支援	R6

（５）その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 汚泥の有効利用

施設で発生する汚泥を脱水し、堆肥化することにより有機性資源の有効利用を継続する。

イ 災害時の廃棄物処理に関する事項

本市が策定した災害廃棄物処理基本計画を踏まえ、災害時に発生する廃棄物の広域的処理体制の確保を図るため、地域内及び周辺自治体との連携体制を構築する。また、日頃から災害時における被害状況の情報収集とその連絡体制及び責任分担等について十分な協議を進めていく。

4 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、国及び福岡県と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果がまとまった時点で、計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

様式 1

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表 1 (令和4年度)

1 地域の概要

(1)地域名	朝倉市	(2)地域内人口	51,133 人	(3)地域面積	246.71 km ²
(4)構成市町村等名		(5)地域の要件	人口 面積 沖繩 離島 奄美 豪雪 山村 半島 <u>過疎</u> その他		
(6)構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況					

2 現有施設の状況と更新、廃止、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力	竣工年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
汚泥再生処理センター	朝倉市環境センター(汚泥再生処理施設)	朝倉市	浄化槽汚泥埋入比率の高い設置兼処理方式+高度処理	73kL/日	H19.3	-	-	(浸水深0m)	

(2) 更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力	竣工予定年月	更新(改良)・新設理由	廃壊却施設解体の着手完了(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
汚泥再生処理センター	朝倉市環境センター	朝倉市	浄化槽汚泥埋入比率の高い設置兼処理方式+下水道放流	35kL/日	R9.3	施設の老朽化に即ち延命化及び下水道放流方式への変更	-	(浸水深0m)	

3 生活排水処理の現状と目標

指標・単位	過去の状況・現状						目標
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
総人口	53,743	53,189	52,533	51,891	51,133	集計中	47,775
公共下水道	18,506 34.4%	19,320 36.3%	20,229 38.5%	20,827 40.1%	22,511 44.0%	集計中	24,299 50.9%
集落排水施設等	5,645 10.5%	5,593 10.5%	5,483 10.4%	5,361 10.3%	5,659 11.1%	集計中	5,287 11.1%
合併浄化槽等	14,137 26.3%	13,775 25.9%	13,559 25.8%	13,734 26.5%	11,864 23.2%	集計中	8,468 17.7%
未処理人口	15,455 28.8%	14,501 27.3%	13,262 25.2%	11,969 23.1%	11,099 21.7%	集計中	9,721 20.3%

※：漏れ処理の削減で、合計が含まれない場合がある。

4 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体			現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
	基数	処理人口	開始年度	基数	処理人口	目標年度	基数	処理人口	目標年度	
公共浄化槽等整備推進事業	3,449基	6,769人	平成3年度	5基	150人	令和9年度				
浄化槽設置整備事業	1,734基	2,677人	平成10年度	294基	1,162人	令和9年度				

※計画地域内の施設の状況(現状、予定)を地図上に示したものを添付した。(添付資料2)

循環型社会形成推進交付金事業実施計画総括表2(令和4年度)

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模	事業期間		総事業費(千円)				交付対象事業費(千円)				備考				
				開始	終了	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		令和8年度	令和9年度		
	-	-	-	-	-	2,893,000	0	12,540	864,138	2,016,322	0	2,155,725	0	4,075	645,495	1,506,155	0	
	1	朝倉市	35 kL/日	R6	R8	2,893,000	0	12,540	864,138	2,016,322	0	2,155,725	0	4,075	645,495	1,506,155	0	
	-	-	-	-	-	309,020	62,785	57,880	62,785	62,785	62,785	309,020	62,785	57,880	62,785	62,785	62,785	
		朝倉市	-	R5	R9	6,000	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	6,000	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	※
		朝倉市	-	R5	R9	303,020	61,585	56,680	61,585	61,585	61,585	303,020	61,585	56,680	61,585	61,585	61,585	※
	-	-	-	-	-	20,064	16,214	3,850	0	0	0	20,064	16,214	3,850	0	0	0	
	31	朝倉市	-	R5	R5	3,014	3,014	0	0	0	0	3,014	3,014	0	0	0	0	
	32	朝倉市	-	R5	R5	13,200	13,200	0	0	0	0	13,200	13,200	0	0	0	0	
	33	朝倉市	-	R6	R6	3,850	0	3,850	0	0	0	3,850	0	3,850	0	0	0	
合計						3,222,084	78,999	74,270	926,923	2,079,107	62,785	2,484,809	78,999	65,805	708,280	1,568,940	62,785	

※: R5~6については、前地域計画と重複

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名：福岡県

(1) 事業主体名	朝倉市
(2) 施設名称	朝倉市環境センター（汚泥再生処理センター）
(3) 工期	令和7年度～令和9年度
(4) 施設規模	処理能力：35kL/日
(5) 形式及び処理方式	浄化槽汚泥混入比率の高い脱窒素処理方式＋下水道放流
(6) 地域計画内の役割	河川放流から下水道放流へリニューアルを実施する。 既存施設のリニューアルを実施することにより、施設の長寿命化・延命化を図る。 し尿及び浄化槽汚泥と有機性廃棄物である農業集落排水処理汚泥を継続して処理する。
(7) 廃焼却施設解体工事の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	堆肥化
(9) 資源化物の利用計画	肥料（ミラクル朝肥）として農地還元

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口 及び面積	人口 人 面積 m ²
(11) 計画地域の性格	
(12) 事業計画額	2,893,000千円

施設概要（浄化槽系）

都道府県名：福岡県

(1) 事業主体名	朝倉市 上下水道課
(2) 事業名称	浄化槽設置整備推進事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活系排水による公共用水域の水質汚濁を防止するため合併処理浄化槽を整備する。
(4) 事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度
(5) 事業対象地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪、山村 半島 (過疎) その他
(6) 事業計画額	交付対象事業費 6,000 千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模
【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (150人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5人槽	基 (人分)			
6～7人槽	基 (人分)			
8～10人槽	基 (人分)			
11～20人槽	基 (人分)			
21～30人槽	基 (人分)			
31～50人槽	基 (人分)			
51人槽以上	5基 (150人分)	11,630 千円	6,000 千円	6,000 千円
宅内配管費	基			
撤去費	基			
改築費 (災害)	基			
改築費 (長寿命化)	基			
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び 管理適正化推進費			
合計	5基 (150人分) ※基数の合計には、宅内配管費、 撤去費、改築費を除く。	11,630 千円	6,000 千円	6,000 千円

※：R5～6年度については、前地域計画と重複

施設概要（浄化槽系）

都道府県名：福岡県

(1)事業主体名	朝倉市 上下水道課
(2) 事業名称	公共浄化槽等整備推進事業
(3) 事業の実施目的及び内容	市が設置主体となって個別の合併処理浄化槽を整備し、住民負担を軽減するとともに、生活環境の改善を図り、公共用水域の水質保全に寄与するため、し尿と生活雑排水を併せて処理することとする。
(4) 事業期間	令和5年度 ～ 令和9年度
(5) 事業対象地域の要件	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪、山村 半島 (過疎) その他
(6) 事業計画額	交付対象事業費 303,020 千円

【公共浄化槽等整備推進事業の場合】

区分	交付対象基数 (1,162 人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5 人槽	102 基 (306 人分)	85,374 千円	72,420 千円	72,420 千円
6～ 7 人槽	147 基 (441 人分)	153,321 千円	127,890 千円	127,890 千円
8～10 人槽	25 基 (75 人分)	34,375 千円	25,475 千円	25,475 千円
11～15 人槽	10 基 (110 人分)	20,390 千円	20,390 千円	20,390 千円
16～20 人槽	基 (人分)			
21～25 人槽	5 基 (90 人分)	16,660 千円	15,300 千円	15,300 千円
26～30 人槽	基 (人分)			
31～40 人槽	5 基 (140 人分)	22,605 千円	22,605 千円	22,605 千円
41～50 人槽	基 (人分)			
51 人槽以上	基 (人分)			
共同浄化槽	人槽 基 (戸数)			
宅内配管費		基		
撤去費		100 基	27,000 千円	9,000 千円
改築費 (災害)		基		
改築費 (長寿命化)		基		
事務費		11,645 千円	9,940 千円	9,940 千円
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費			
	調査費			
	計画策定等調査費			
	効果的な転換促進及び 管理適正化推進費			
合 計	294 基 (1,162 人分) ※基数の合計には、宅内配管費、撤去費、改築費を除く。	371,370 千円	303,020 千円	303,020 千円

※：R5～6 年度については、前地域計画と重複

計画支援概要

都道府県名：福岡県

(1) 事業主体名	朝倉市		
(2) 事業目的	朝倉市環境センターの延命化及び下水道放流へ放流先変更のため		
(3) 事業名称	朝倉市環境センター (汚泥再生処理センター) リニューアル事業に係る 生活環境影響調査	朝倉市環境センター (汚泥再生処理センター) リニューアル事業に係る 発注仕様書等業務	朝倉市環境センター (汚泥再生処理センター) リニューアル事業に係る 発注支援業務
(4) 事業期間	令和5年度	令和5年度	令和6年度
(5) 事業概要	・生活環境影響調査	・施設整備基本設計 ・発注仕様書等作成	・入札公告関係書類作成 ・事業者選定支援
(6) 総事業計画額	3,014千円 うち交付対象事業費 3,014千円	13,200千円 うち交付対象事業費 13,200千円	3,850千円 うち交付対象事業費 3,850千円

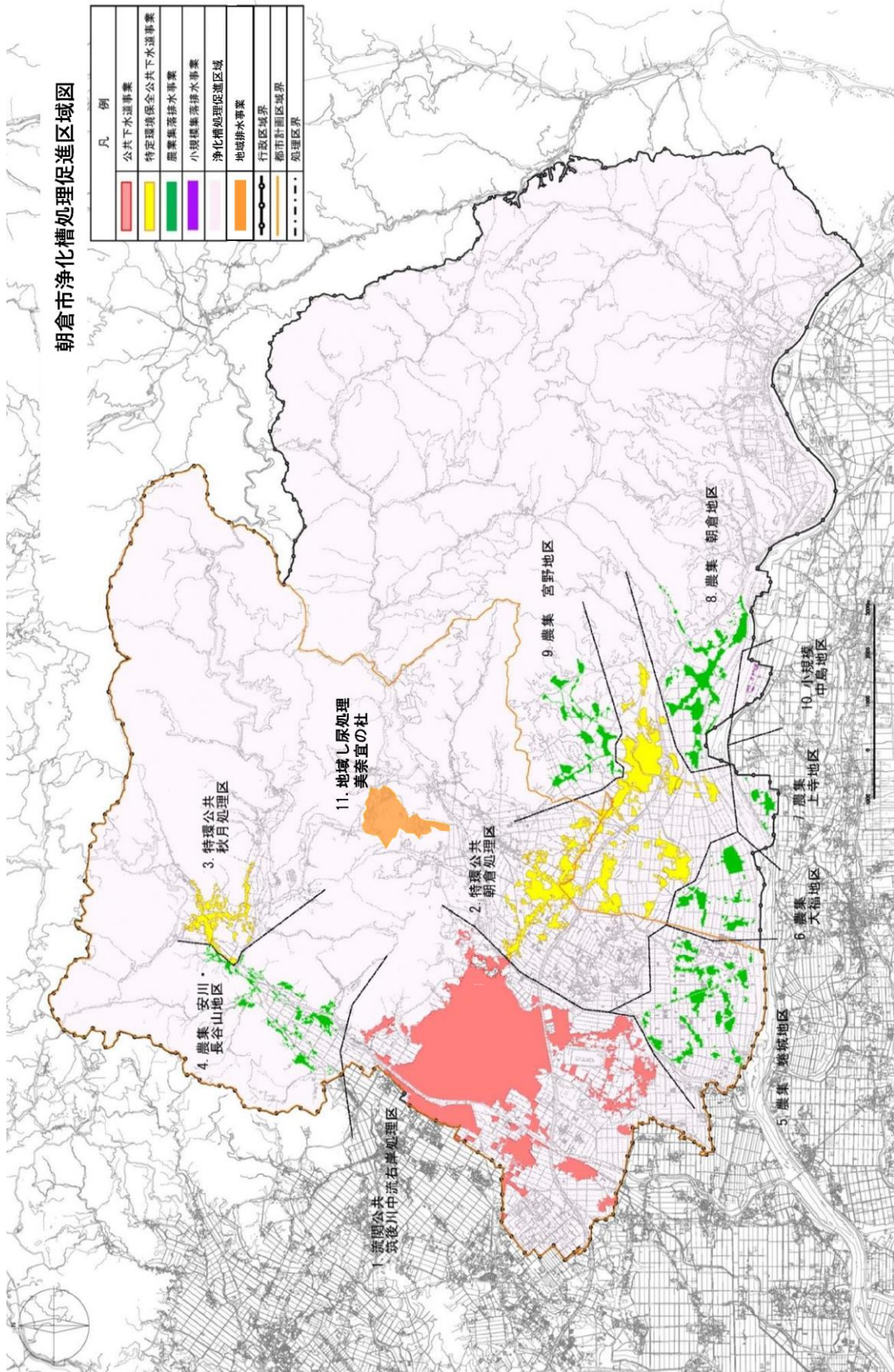
◆添付資料 1 対象地域図



◆添付資料 2 地域内の施設の現況と予定 (その 1) 【位置図】

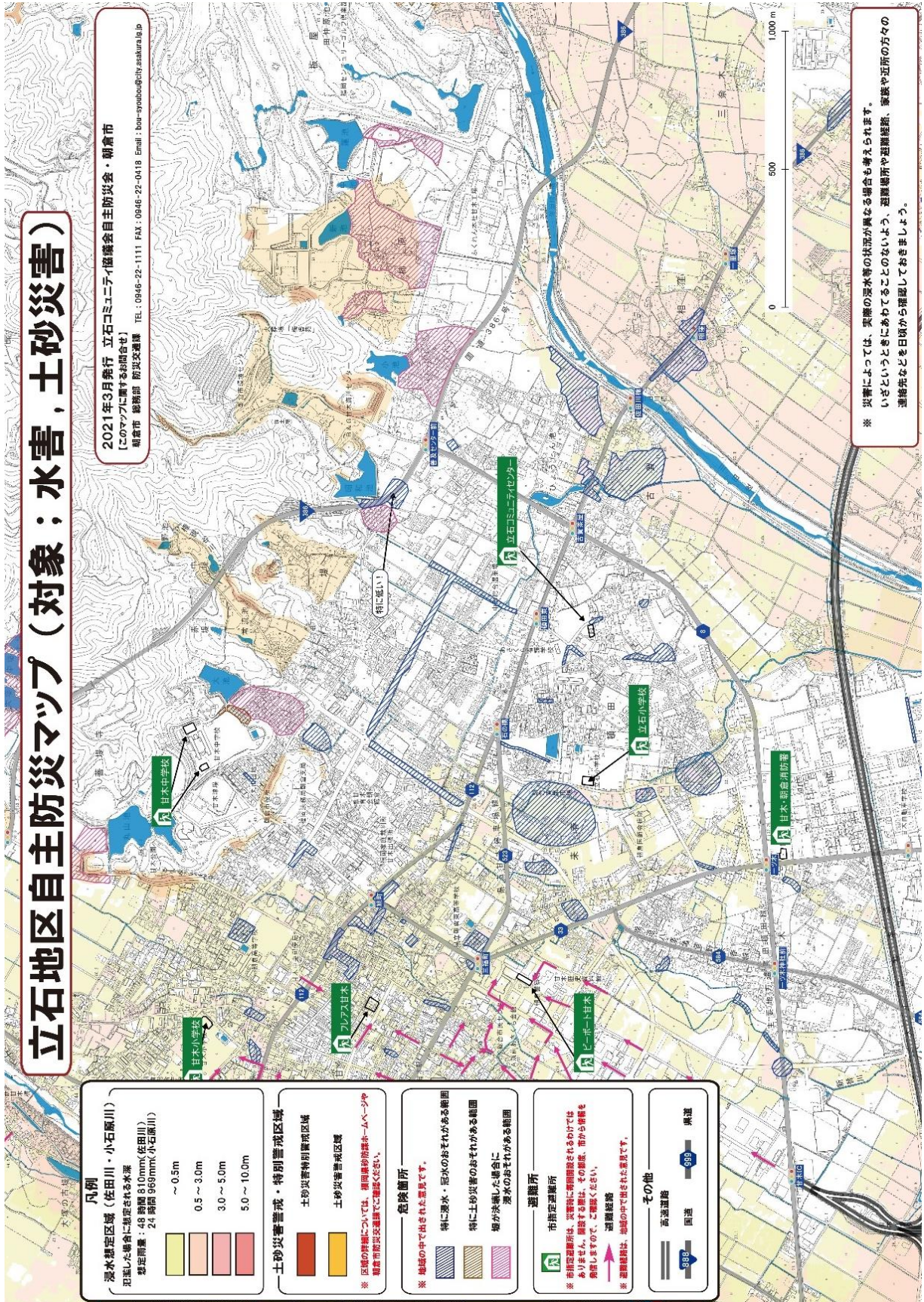


◆添付資料2 地域内の施設の現況と予定（その2）【合併処理浄化槽整備区域図】



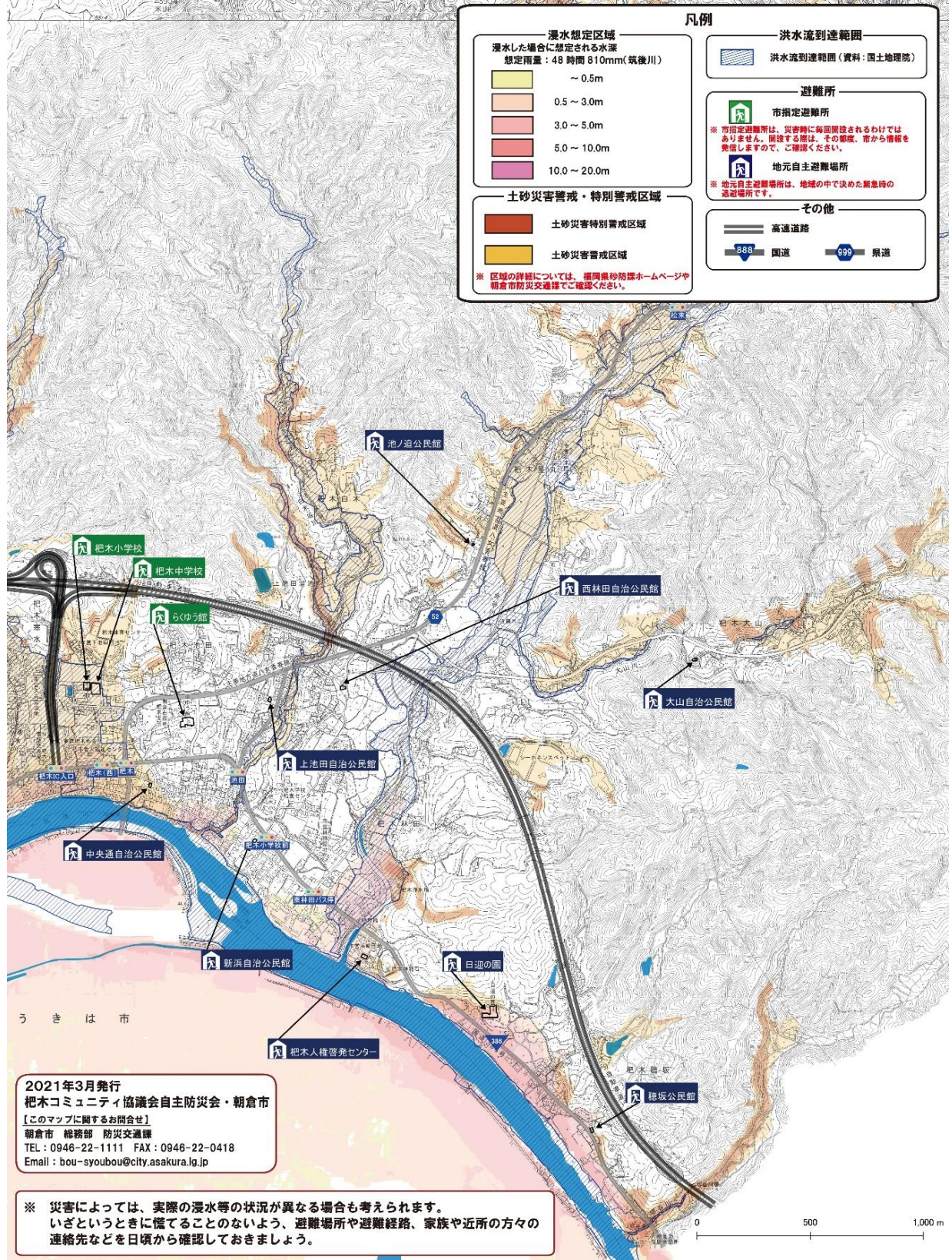
◆添付資料3 ハザードマップ（その1）【立石地区】

立石地区自主防災マップ（対象：水害、土砂災害）



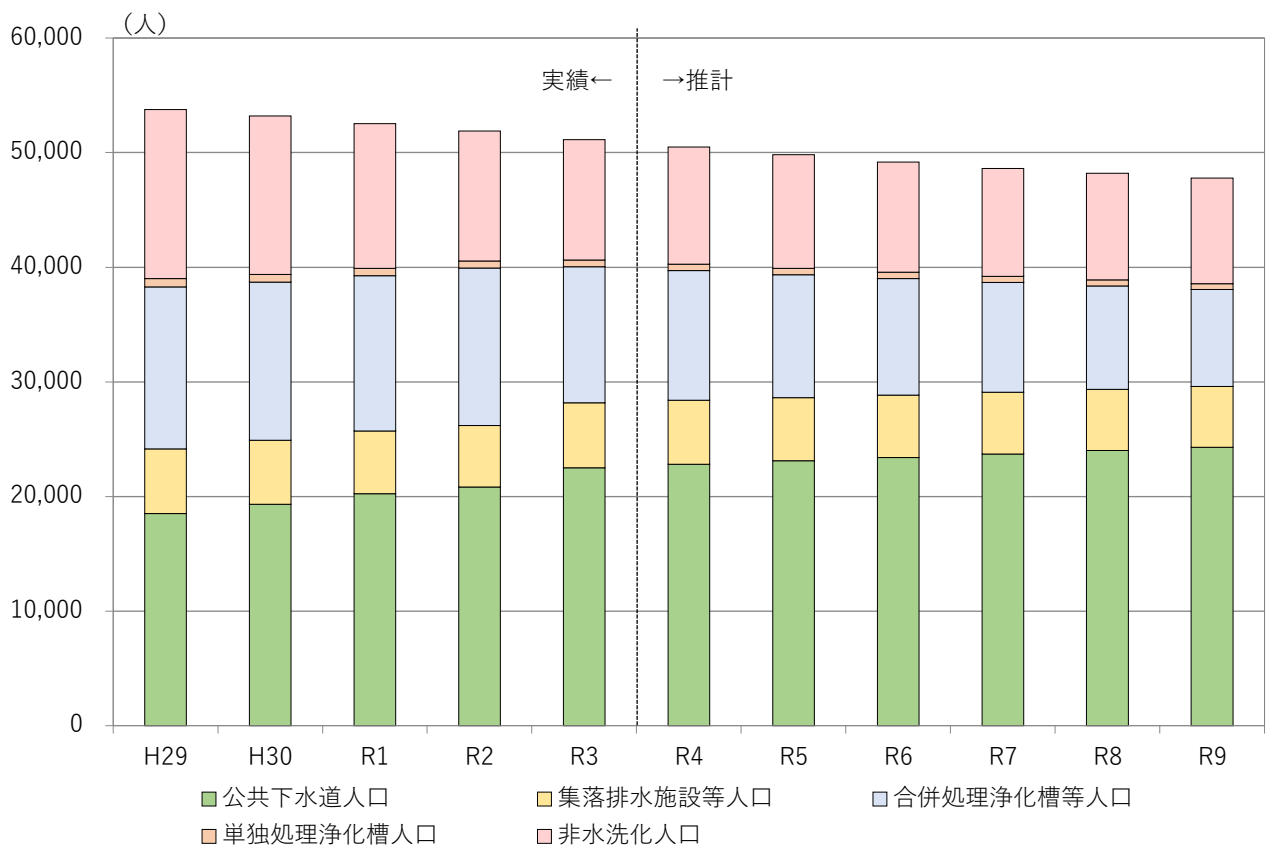
◆添付資料3 ハザードマップ（その2）【杷木地区】

杷木地区自主防災マップ（対象：水害，土砂災害）



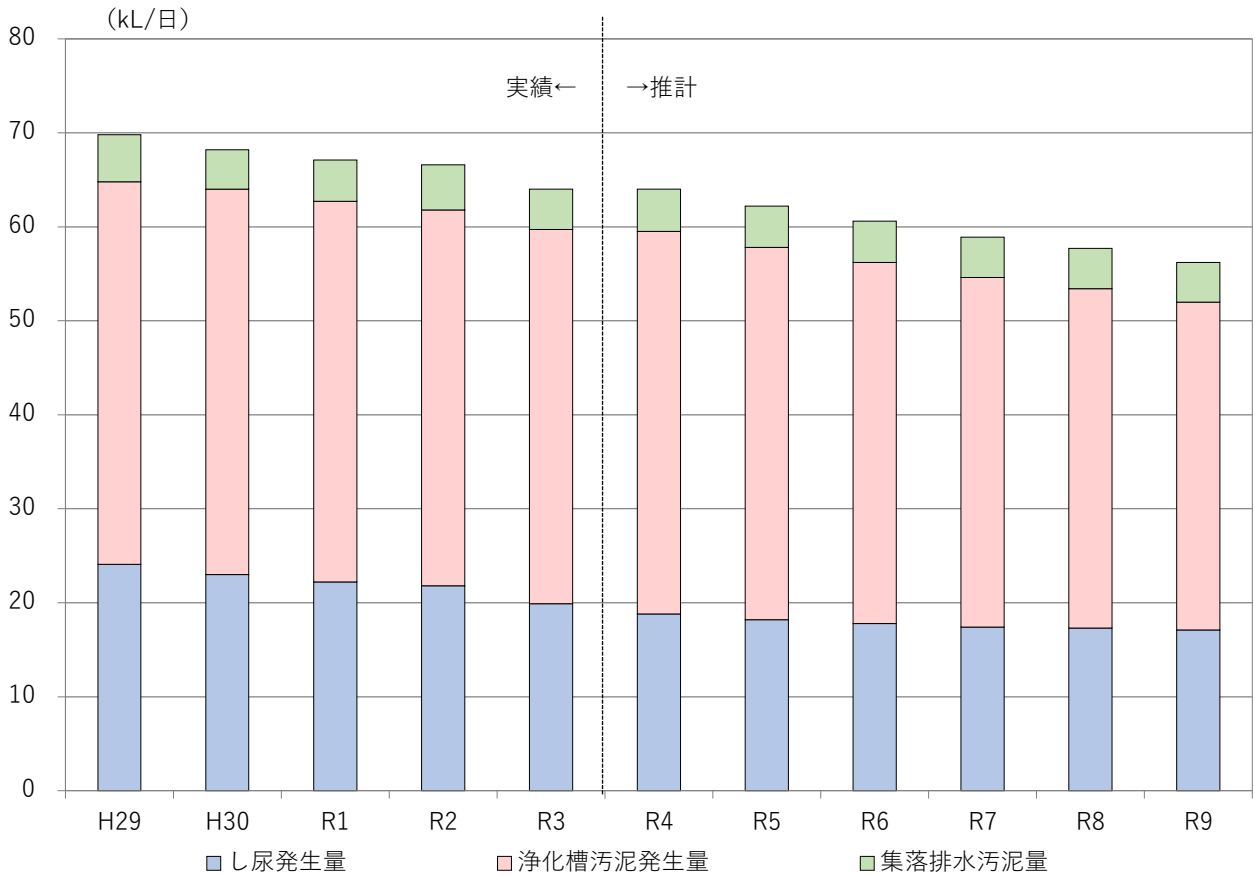
◆添付資料 4 生活排水処理人口の推移（朝倉市全域）

区分\年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
行政区域内人口	人	53,743	53,189	52,533	51,891	51,133	50,479	49,824	49,170	48,618	48,196	47,775
水洗化・生活排水処理人口	人	38,288	38,688	39,271	39,922	40,034	39,694	39,353	39,013	38,684	38,369	38,054
公共下水道人口	人	18,506	19,320	20,229	20,827	22,511	22,809	23,107	23,405	23,703	24,001	24,299
集落排水施設等人口	人	5,645	5,593	5,483	5,361	5,659	5,587	5,514	5,442	5,381	5,334	5,287
合併処理浄化槽等人口	人	14,137	13,775	13,559	13,734	11,864	11,298	10,732	10,166	9,600	9,034	8,468
単独処理浄化槽人口	人	709	673	644	623	594	577	560	543	531	525	519
非水洗化人口	人	14,746	13,828	12,618	11,346	10,505	10,208	9,911	9,614	9,403	9,302	9,202



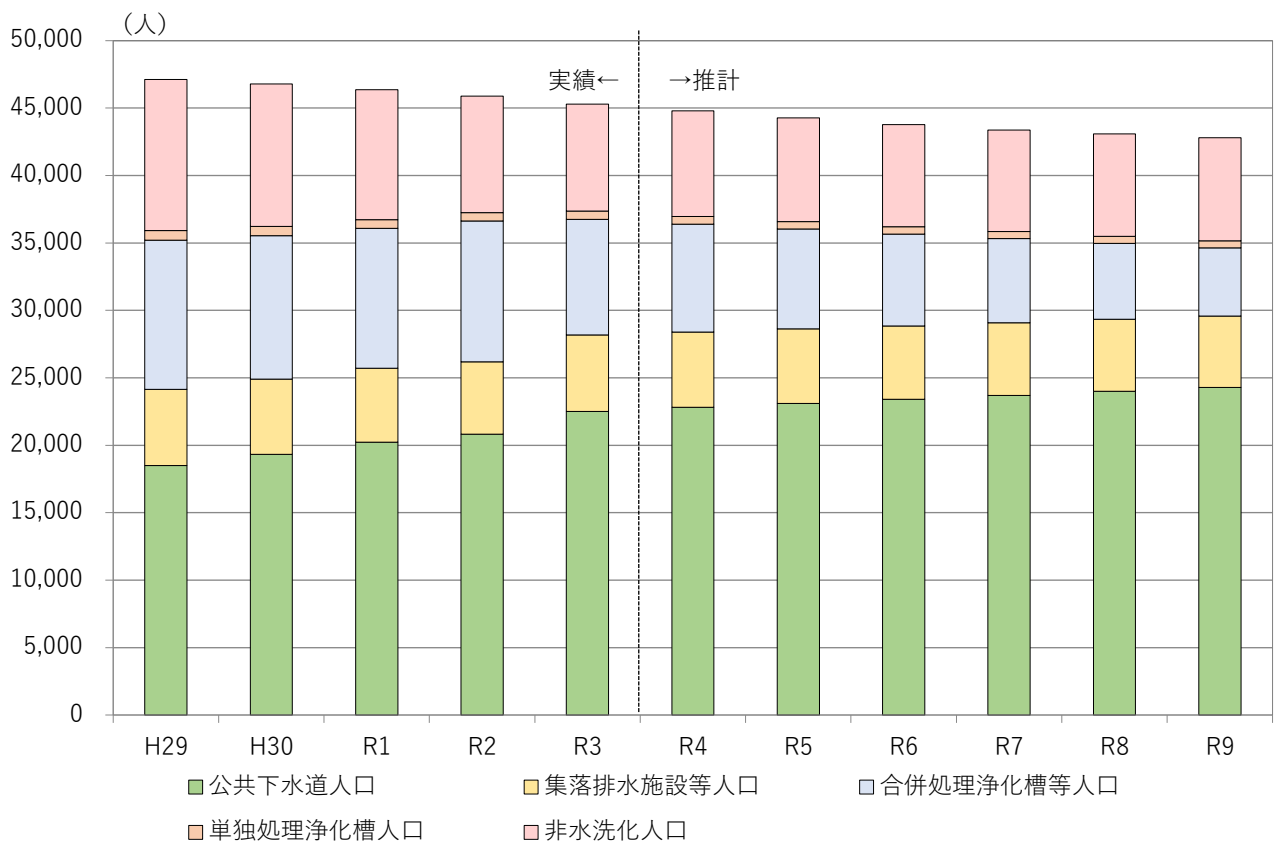
◆添付資料5 し尿、浄化槽汚泥及び集落排水汚泥発生量の見込み（朝倉市全域）

区分\年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
し尿発生量	kL/日	24.1	23.0	22.2	21.8	19.9	18.8	18.2	17.8	17.4	17.3	17.1
浄化槽汚泥発生量	kL/日	40.7	41.0	40.5	40.0	39.8	40.7	39.6	38.4	37.2	36.1	34.9
集落排水汚泥発生量	kL/日	5.0	4.2	4.4	4.8	4.3	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2
合計	kL/日	69.8	68.2	67.1	66.6	64.0	64.0	62.2	60.6	58.9	57.7	56.2



◆添付資料 6 生活排水処理人口の推移（杷木地域を除く）

区分\年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
行政区域内人口	人	47,134	46,783	46,375	45,878	45,304	44,794	44,284	43,774	43,367	43,089	42,813
水洗化・生活排水処理人口	人	35,207	35,548	36,077	36,636	36,762	36,398	36,034	35,669	35,317	34,978	34,640
公共下水道人口	人	18,506	19,320	20,229	20,827	22,511	22,809	23,107	23,405	23,703	24,001	24,299
集落排水施設等人口	人	5,645	5,593	5,483	5,361	5,659	5,587	5,514	5,442	5,381	5,334	5,287
合併処理浄化槽等人口	人	11,056	10,635	10,365	10,448	8,592	8,002	7,413	6,822	6,233	5,643	5,054
単独処理浄化槽人口	人	709	673	644	623	594	577	560	544	532	526	520
非水洗化人口	人	11,218	10,562	9,654	8,619	7,948	7,819	7,690	7,561	7,518	7,585	7,653



◆添付資料7 し尿、浄化槽汚泥及び集落排水汚泥発生量の見込み（杷木地域を除く）

区分\年度		平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
し尿発生量	kL/日	19.7	18.9	18.0	17.7	15.9	15.2	14.9	14.7	14.6	14.7	14.8
浄化槽汚泥発生量	kL/日	19.3	19.7	19.0	17.9	16.9	18.3	17.0	15.6	14.3	13.0	11.7
集落排水汚泥発生量	kL/日	5.0	4.2	4.4	4.8	4.3	4.5	4.4	4.4	4.3	4.3	4.2
合計	kL/日	44.0	42.8	41.4	40.4	37.1	38.0	36.3	34.7	33.2	32.0	30.7

